

JD Farag 牧師 中東アップデート 2018年6月17日公開

あざける者／終末疲労

今日の預言アップデートを始める前に、毎年父の日に行っている通り、少し時間を取りたいと思います。私個人的には、父の日には特別な思いがあるのです。それは、Sonora Smart Doddさんが父の日を創設した、ワシントン州 Spokane 市というのは、私がずっと住んでいた場所です。私が、32年前に妻と出会ったのも、ワシントン州 Spokane 市の教会でした。これが初めて祝われたのは、1910年6月19日、Spokane 市のYMCAです。市民戦争の退役軍人であった、Senoraの父親William Jack Smart氏は、Spokane 市内で、男手一つで6人の子どもを育てあげました。1909年、セントラルメソジスト監督教会で、Jarvisの母の日の説教を聞いた後、Senoraは、自身の牧師に言いました。「父親たちにも、同じように賞賛される祝日があるべきだ。」—そうです!—彼女は初め、父親の誕生日である6月5日を示唆しましたが、牧師に説教の準備をする時間が十分になかったため、お祝いは6月の第三日曜日に延期されました。それを、今日でも私達が祝っています。以上が、父の日の始まりに関する簡単な歴史です。毎年父の日には、私の好きな言葉のいくつかを、ご紹介しています。

マーク・トウェインのユーモアたっぷりの言葉です。

—私が14歳の少年の頃、私の父は本当に無知で、そばに居るのが耐え難いおやじだった。しかし、私が21歳になった時、この7年の間に、父があまりにもたくさんの事を学んでいたの、私は驚愕した。—

これに似たもので、Margaret Trumanの言葉です。

—自分が成長して、父から一步下がって見た時、または、家を出た時、その時初めて、父の偉大さを測り、心から感謝する事が出来るようになる。—

故ビリー・グラハムの言葉です。

—良い父親というのは、最も歌われず、最も賞賛されず、最も気づかれないものだが、我々の社会の中で、最も価値のある財産だ。—

最後のこちらに、私はとても感動しました。良く言い当てています。

—ある夜、息子が祈っているのを耳にした父親の話です。息子は、こんな風に祈っていました。「神様。僕を、お父さんのような男にしてください。」その夜遅く、父親は祈りました。「神様。私を、私の息子が思っているような男にしてください。」—

預言者マラキは、4章6節の前半に、次のように記しています。

“彼は、父の心を子に向けさせ、子の心を、その父に向けさせる。” (マラキ4:6)

箴言23:24にはこうあります。

“正しい者の父は大いに楽しみ、知恵ある子を生んだ者は、その子を喜ぶ。”

最後に、詩編103:13です。

“父がその子をあわれむように、主は、ご自分を恐れる者をあわれまれる。”

これがまさに、神の子どもである私達と、愛情豊かな父であられる神様との接点ですね。

では、今日の父の日、天の私達の父を賞賛するのはもちろんですが、父親の皆さんも、どうぞご起立ください。皆さんに感謝し、敬意を示し、祝福し、そして、お祈りしたいと思います。ありがとうございます。お父さん方、私達は大切です。私達は、非常に重要です。では祈りましょう。

愛なる天のお父様。今日の父の日、私達は、まず何よりも、天の父であられるあなたを賛美し、そしてあなたの栄光をたたえます。また同時に、私が牧らせていただいている、この美しい教会で、今ここに立っているすべての父親を、私もその一人ですが、今日、あなたに感謝します。私達には、これまで以上に、天の父であられるあ

なたが必要です。地上の父親である私達が、天の父であられるあなたを、しっかりと代表出来るように、私達に力を与え、私達に能力を与え、私達を励まして下さい。お父様、ありがとうございます。この祈りを、イエスの御名によっておささげします。アーメン。
God bless you!ありがとうございます。

今日の預言アップデートもまた、少し違った事をしたいと思います。通常は、その前の週に起こった、特記すべき情勢と、聖書が告げる終わりの日に起こる事を、照らし合わせてお伝えしています。しかし今回、聖霊の導きだと感じたのは、実は、結構以前から示されていたのですが、「終末の疲労」と呼ばれる事についてです。終末の疲労。私の経験では、主の来臨の話は、「疲労感」とか場合によっては「うんざり感」をもたらすと思います。未信者にとっては、確実にそうでしょうが、とても気になるのは、自らをクリスチャンであると公言している人の中にも、同様の場合がある事です。それには多数の理由がありますが、その中でも大きな原因があります。私は、おそらくこれが主な原因ではないかと思いますが。携挙がいつ起こるとか、いつ起こり得るといふ、偽の予測が多く出回って、人々に期待を持たせておきながら、それが起こらなかった事でしょう。箴言にはこうあります。

“期待が長引くと心は病む。” (箴言 13:12)

今から1か月ほど前、キリストにある兄弟で、イスラエル在住、エルサレム・ジャーナルに努める Brian Svhrauger が、非常に興味深い記事を送ってくれていました。ただ、正直に告白すると、記事に目を通した後、私は、ちょっと気分が悪くなりました。…ではなく、本当は怒りを覚えました。だから私は、それを保存しておいて、それについては、祈る事にしました。そして先週、いつものように、今日のアップデートについて主に伺い、その記事にもう一度目を通しました。しかし今回は、少し違ったレンズでこれを見ていました。その中で、主が、本当に主にしか出来ない形で、いつものごとく、私の心をただ祝福し、励まして下さり、私の心を落ち着かせてくださったのです。そこで今日、主が、皆さんにも、同様にして下さいようと祈り願います。特に、主に、早く戻って来てほしいのに、まるで、主がそれを遅らせているようで、疲れて、落胆している人達。

まず初めに、記事からいくつか抜粋してお伝えします。5月19日に出版された、The Guardian 誌のもので、その中で、筆者が示唆しているのは、
—— “クリスチャン右派”の多くが、イスラエル国家が、預言成就のカギとして見ているが、若い世代は違う考え方をしている。——

記事は、トランプ政権が、アメリカ大使館のテルアビブからエルサレムへの移転を完了した週に書かれたもので、その記事が主張している事を、いくつか引用します。

——開館式で、アメリカのスピーカーの内2人は、“福音派のスーパースターだった。”——

この言い方、嫌ですね。

——イスラエルに関する「不吉な日の本」をいくつも執筆している Robert Jeffress 牧師、それから、最近の月食を終わりが近い証拠だと解釈した John Hagee、そしてその頃、FoxNews のパーソナリティ Jesnine Pirro は、トランプが「聖書預言を成就させた」と宣言した。——

——1970年代、膨大な数の人が、Hal Lindsay の、「The Late Great Planet Earth」を購入した。その本の中で、イスラエルでの出来事は、ハルマゲドンの大戦争が起こる証拠だと解釈されている。続いて、テレビ伝道師 Pat Robertson によって、広く人気を博した終末陰謀論「世界新秩序」、そしてそれから、イスラエルでの暴力や対立は、聖書預言を成就させると説いた、「レフト・ビハインド」の小説と映画だ。外部の者にとっては、これらの「不吉な日のポップス」の数々は、現実的でない狂気の沙汰に見える。膨大なクリスチャンにとっては、これらは、世の終わりへの地図だ。——

——「我々は、すでにこの全部を経験している。」と Bruce McCluggage は言う。彼は、元福音派で、現在は自身を“キリストに従う者”だと認識している。——

彼は、自分をキリストに従う者だと認識しています。

——若かった1970年~1980年代、McCluggage は、イスラエルのしるしを、終わりの日の証拠だと解釈するクリスチャンのムーブメントの一員だった。しかし、McCluggage の場合は、ものごとが実現しない事から、じわじわ

と怒りに変わり、確信は徐々に遠のいていった。「あれは、伝道の為に使われていた、昔からある道具だったんだ。」彼は回想します。そして、「こんな風に聞くのさ。『もし今日、イエスが戻って来られたら、あなたは天国に行きますか?』これはある意味、脅迫ですよ。そして、イスラエルが整い始めたら、イエスの来臨を早める事が出来ると、私達は思っていた。」彼は、今でもカリフォルニア州の“ジーザスピープル”の一員のように見える。彼らは、“元ヒッピー・クリスチャン”ブームの、終末預言に執着していた集団だ。彼は、今でも教会に行き、賛美し、聖書を読んでいる。しかし、クリスチャン右派からは、徐々に離れていっている。現在彼は、“ポスト福音派”（福音派の次の）、もしくは“革新的福音派集団”で知られる場所に、身を置いている。――

皆さんもご覧の通り、私はいまだに、この新しい表現を理解し兼ねています。

――会場は、流行りのモダンなコーヒーハウスと何ら変わりなく、高価なドリップコーヒーや地ビールを出し、音楽は“インディー・ロック”サウンドトラック。本棚には“宗教の後のキリスト教”とか、“神のリバーシング（神の再誕生）”といったタイトルの本が並ぶ。イベントは「What would Jesus Brew?」（イエスなら、何を醸造するか?）という名のビール中心の聖書の学びのようなものが、定期的に行われている。店は、――

筆者は続けて書いています。皆さん、私がこれを言う時に、怒っているように見えるのは、あまりにも心が痛んで、正義の怒りである事を、先にお伝えしておきます。皆さんには、ご理解いただける事を願います。これは、本当に心が痛みますよ。こちら、聞いてください。

――店は、イスラエルを取り巻く“Apocalyptic/この世の終わり”の誇張には、あまり関心のない人達の、キリスト教に対する流動的な態度を代表している。――

ここで、少し補足しておきます。“Apocalyptic/この世の終わり”という言葉は、実際は“黙示録”です。この世の終わり＝黙示録。皆さん「Apocalyptic」の意味をご存知ですか?これは、「覆いを取る」とか、「明らかにする」という意味です。それが全く違う意味になっているように思えます。さらにそれに、ネガティブな意味合いが含まれている。

引用します。これが実に辛いのです。

――大勢の若い世代が、自らを福音派と呼び、保守的であるとまで言う。しかし、福音派として育ちながら、もはや、“自分をそうだとみなしていない”彼らの両親とは、大きく異なる血統だ。彼らのほとんどは、トランプを支持しておらず、LGBT問題に対して、広範な意見を持ち、そして、終末神学にはのらない。確実にこの世代には、ある種の“終末疲労”が存在する。――

これに関して、意見をお伝えしますので、もう少しお付き合いいただければと思います。まず、この記事の率直さに感謝します。正直に言えば、これが現実ですから。若い世代は、聖書預言に関する事には、関わろうとしません。そして私には、その理由に心当たりがあるのです。そこで皆さんにも、私の心の内をお伝えしようと思います。

私には息子が2人いて、1人はもうすぐ20歳、もう1人はもうすぐ18歳になりますが、その息子たちに、これについて話をしました。そこで、若い者達から聞かれた質問の1つは、本当に率直に行ってしまえば、彼らがまず一番に言ったのは、

私のような人間は、「もう歳をとっている。」

イエスの御名によって、それは認めますよ。実際歳をとっています。

そして彼らが言うには、

「お父さんは、人生を楽しんだじゃないか。僕の人生は、これからなんだ。」

「僕は大学に行きたいし、結婚もしたいし、子どもも欲しい。」

「アメリカン・ドリームを生きたいんだ。家を買って、子どもは2人半?車は2台」

・・・ここハワイでは、車は1台、ガレージも1台分ですが。それはともかくとして。

「そらお父さんは、当然、主に戻って来てほしいでしょ。鏡を見てごらんよ!」

彼らも、的を得ていますよ。

「でも僕の人生は、これからなんだ。」

さて、皆さんなら、それに対して何と言いますか？私はただ聞いているのですよ？皆さんなら、若者が皆さんのところに来て、こういう質問や話題を持ちかけてきたら、彼らにどう話をしますか？私は彼らに次のように答えました。皆さんも、使っていただいて構いませんよ？もし、あなたが使いたければ。もし、主があなたの心に置かれるなら。

「天国には、誰一人として、老いも若きも、『僕が結婚する前に、主に来てほしくなかった。』という者はいない。」

天国の栄光の中で、もはや、悲しみも、痛みも、苦しきも、涙も、確実に死もない、永遠の場所で、「大学に行きたかった」なんて言う若者は、1人もいません！

「学生ローンで5千万円借りて、生涯かけて、それを返済して行きたかったのに。」

事実ですよ？天国では、誰も、そんな事言いません。

先日、一緒にデポーションをしていた娘が言ったのは、

「私は、主には戻って来て欲しいけど、でも、人生も経験したい。」

そこで、私は言いました。

「サビア、いいかい？君の年齢で、主が戻って来られたとすれば、ほんとに…人生の中の、どんな事を免れるか考えてごらん？」—何も！でしょう？

これが狡猾というか、言うならば、サタンが成功している部分ですよ。敵は、「神は、君に何か出し惜しみをしているんだよ？」と言って、大成功を続けている、エデンの園からの同じ嘘ですよ！「神は、君に〇〇を隠しているよ。」「神は、君に〇〇を与えたくないんだよ。」空白は、それぞれで埋めてください。昔から繰り返されてきた同じ嘘が、違う包装紙に包まれているだけ。何度も包みなおされて、何度も再発明されているだけですよ。「神は、君に出し惜しみをしているんだ。」「神は、君に与えたくないんだよ。」

昨日、私は結婚式を執り行っていたのですが、これがなかなか面白くて。私は結婚式の中で、言った事のないような事を言い、さらには祈ったのです。私が執り行った中で、最高に面白かった結婚式でした。ノースショアに居たのですが、すごく面白かったのは、私は、こんな風に言ったのです。

「主よ、楽しませてください。あなたが、楽しい事が好きなのは、私達も知っています。楽しい事を発明されたのは、あなたですから。」

何人かの方が、これを気に入ったようで、その後、座っていたら、ある人が私の顔を見て言いました。

「一体どんな牧師さんですか？あんなの、初めて聞きましたよ！」

なぜこんな話をするかと言えば、私達は、これをしていないからです！私達は、間違った主のイメージを与えています！

「キリストに立ち返りなさい。そして“凍った選民”になりなさい！」と。ほんとにそうですか？！そしてそれが、若者を惹きつけ、この世代の若者達には、魅力的だと？！勘弁してくださいよ！

ごめんなさい。怒鳴るつもりはなかったのですが。私は、皆さんに怒っているのではない事を、どうかご理解ください。怒っているように聞こえるかも知れませんが、私は怒っていません。ただ、これはショックで、私は祈ったのです。「主よ！あまりに多くの若い人達が、この島に居て、彼らには、イエスが必要です！」

次に進みましょう。引用します。

——この「ポスト福音派（福音派の後）の世代」は、お決まりの三文映画と、携挙が起こることへの恐怖を植え付ける、三文小説を見て育った。その原動力は、故ビリー・グラハムが、最も雄弁に語っている。「片手に聖書を持って、反対の手に新聞を取り、新聞を読むと、ほぼ同じことが聖書の中に書かれている。私達の周囲のいたるところで、それらは日々成就されている。」1990年代、Christopher Stroupも、そのような福音派だったが、今、彼は、信仰を捨ててしまっている。——

そもそも、彼が新生していたのかどうか、疑います、深い意味はありませんが。

——彼は“元福音派”を刺激する、ソーシャルメディアでの運動をリードしている。——

“元福音派”です。ちなみに、年寄り仲間の皆さん、ハゲ仲間、白髪仲間、どんな頭でも、私は皆さんの事を愛していますよ！しかし皆さん、理解しなければなりません。若い世代は、この中で生きているのです！彼らは、ここに生きているのです。私達には、さっぱり分かりませんが。ある人が言っていました。

「我々は、より多くのテクノロジーを、ポケットの中に入れてる。」
ところで、スマホをポケットに入れるのは、体に良くないですよ？

「我々は、2001年9月11日に国が所有していたものよりも、多くのテクノロジーをポケットに入れてる。」
これ、よく考えてみてください。ソーシャルメディアで見た画像には、スマートフォンがあって、その隣には巨大カメラ、巨大コンピューター、巨大ファックス、他にも巨大なあれこれが、机の上に置かれてあって、それから、こんな風に告げていました。「これよりもずっと多くのものが、この中に入っている。」何となく分かりますね？何が言いたいのか？私が言いたいのは、こうです。どうかよく聞いてください。

これが、彼らの生きている世界です。彼らは、ソーシャルメディアの世界で生きているのです。彼らは、その中で生きています。

そして彼は、次のようなハッシュタグを使って、“元福音派”を刺激しようと狙っています。

『#Emptythepews（教会の座席を空にしよう）』

これはどうですか？『#RaptureAnxiety（携挙不安）』

この記事の中で、私が最も心を痛めたのは、“聖書預言から離れ、敵対への移り変わり”と呼ばれるものについて、告げている点です。私が心配しているのは、次の点です。私の正直な気持ちをお伝えしますと、聖書預言が、これまでにないほどの速さで成就し始めている時に、この移り変わりが起こっているのです。敵は、それを知っています。敵は、盗み、殺し、破壊する為に来ると、イエスが言われました。そして敵は特に、このハッシュタグ世代から、盗んでいます。祝福された希望、私達と彼らに与えられた唯一の希望を。以前にも言いましたが、もう一度言います。この希望、「神のラッパの響きのうちに、キリストにある死者が、まず初めによみがえり、生き残っている私達が、たちまち彼らと一緒に雲の中に一挙に引き上げられ、携挙され、空中で主と会う。」この希望がなければ、この希望の期待が無ければ、私は大げさでなく、文字通りに、頭がおかしくなっていますよ！世は、日ごとに悪が満ちていますから！私はもう、ニュースを聞くことも出来ません！ここ地元でも、兄弟が送ってくれた記事を、私は読むことが出来ませんでした！パウロが、エペソ人への手紙で言ったように、今のこの世の中で、小さな子ども達に起こっている事は、もう、考えられません！言葉になりません！祝福された希望が、まさに希望をもたらすのに。この、希望のない世代に！それを、敵が、彼らから盗んでしまったのか？今の時代に生きているというのは、本当にワクワクする事ですよ！違いますか？

あと少しで終わります。

主が、もうすぐ、教会を携挙する為に来られる事について、語る者に対する軽蔑が増しています。しかも、それがどんどんひどくなっている。しかし、神は。しかし神は、神にしか出来ない形で、私達の心を静めてくださいます。この敵意むき出しの軽蔑も、実は、また別の預言が成就しているのだという事を、私達は、思い出さなくてはなりません。この事が、主の戻りがどれほど近づいているかを、示しているのです。第二ペテロ3章を開いてください。これで、まとめに入ります。使徒ペテロが、彼の2番目の書簡の3章で、次のように告げています。

“まず第一に、次のことを知っておきなさい。終わりの日に、あざける者どもがやって来てあざけり、自分たちの欲望に従って生活し、次のように言うでしょう。「キリストの来臨の約束はどこにあるのか。父祖たちが眠った時からこのかた、何事も創造の初めからのままではないか。」こう言い張る彼らは、次の事を見落としています。すなわち、天は古い昔からあり、地は神のことばによって水から出て、水によって成ったのであって、当時の世界は、その水により、洪水におおわれて滅びました。しかし、今の天と地は、同じみことばによって、火に焼かれる為にとっておかれ、不敬虔な者どもの裁きと滅びとの日まで、保たれているのです。”

(第二ペテロ3:3-7)

聞きなさい。裁きは近づいています！**裁きは近づいています！**裁きについて語る教会を探すのは、困難でしょう。しかし神は、裁かなければなりません。彼は、正義ですから！彼は裁かれます。そして、この世を滅ぼされます！今回は、洪水ではなく、火によってです。

”しかし、愛する人たち。あなた方は、この一事を見落としてはいけません。すなわち、主の御前では、一日は千日のようであり、千年は一日のようです。主は、ある人達が遅いと思っているように、その約束のことを、遅らせておられるのではありません。”（第二ペテロ 3:8-9）

ところで、創造から現在まで6千年です。皆さん、神がアダムとエバを作ってから、たった6日だと、気づいておられますか？この視点で見てください。6千年ですよ？私達にとっての千年は1日ですから、6日です。これは、遅くはありませんよ？遅くなんかありません。注意してよく聞いてください。

“かえって、あなた方に対して、忍耐強くあられるのであって、ひとりでも滅びる事を望まず、すべての人が悔い改めに進む事を、望んでおられるのです。しかし、主の日は、盗人のようにやって来ます。その日には、天は大きな響きをたてて消えうせ、天の万象は焼けて崩れ去り、地と地のいろいろなわざは焼き尽くされます。このように、これらのものは皆、くずれ落ちるものだとすれば、あなたは、どれほど聖い生き方をする敬虔な人でなければならない事でしょう。そのようにして、神の日の来るのを待ち望み、その日の来るのを、早めなければなりません。”（第二ペテロ 3:9-12）

この、「主の日が来るのを早める」というところに、惑わされてはいけませんよ？皆さんも、私と同じなら、思うでしょう？「えっ？！ちょっと待って！早める事が出来るの?!」「どうやって?!なら、やろうじゃないか!!」でしょ？

これに関して、私の考えはこうです。と言っても、断言するわけではありませんよ？聖書学者の人達は、私より上手く解説、説明をしているはずですから。

ほら、皆さんも、忙しくしていると、時間がたつのが早いでしょう？それに対して、忙しくない時は、時間がただ、ダラダラといつまでもいつまでもいつまでも続きます。私は、ここは、そのことを言っていると思います。いや、よく聞いてください。それから、私と一緒に考えてみてください。神の事に忙しくしていると、あなたが生きるべき生き方をしていると、聖く敬虔に生きていて、楽しみにしていると、あっという間に時間が過ぎていきます。そういう事ですよ。

では締めに入ります。今日、私が皆さんにお話しした事に対する、皆さんの反応は、次の2つの内、どちらでしょうか？

1つは、起こっている事に対して落胆し、自信を無くす代わりに、ある人達は、主が来られる事を期待して、わくわくするでしょう。しかしながら、終わりにお話ししたいのは、2つ目の反応です。不安と恐れです。「#不安」「#恐れ」です。こっちの方が良いですか？ふざけるつもりはありません。私は、愛をもって正直になりたいと思っています。愛を込めて、真実を語ります。そして言います。もし、それがあなたの反応なら、私は、あなたに伝えざるを得ません。その事が、あなたが、主との関係を正さなければならない事を、示しています。もしかしたら、あなたが、神の元に戻らないといけない事を示しているのかも知れません。エペソ教会のように。私達が今学んでいる書簡、使徒パウロが、エペソの人へ手紙を書いた35年後です。イエスがヨハネに手紙を書かせた、35年後のエペソの教会は、初めの愛を失ったのではなく、離れたのです。そして、彼らは、3つの事を行うように言われました。思い出し、悔い改め、繰り返す。

あなたが、初めてイエスを愛した頃を思い出してください。あなたは、悔い改めなければなりません。180度です。そして、初めの行いをしなければなりません。初めに行った事。あなたが、初めてキリストに立ち返った時、あなたは主の事で燃えていました。主の事を、他の人達に伝えていましたね？主の近くに居ました。それが今は、何となくフラフラと離れて、逆戻りしてしまいました。この世の心遣いと富の惑わしが、あなたの主への愛を塞いでいます。もしかしたら、世と、世の事を愛しているのかも知れませんね。神は、あなたを妬んでおられますよ。あなたのことを、妬んでおられるのではありませんよ？あなたの為に、妬んでおられるのです。そして、あなたが戻ってくる事を、望んでおられます。もし、それが、あなたであるなら、ある人にとっては、今日が、再び献身する日なのかも知れません。

私は、1982年に救われましたが、私の人生の中で、何度か逆戻りした事があります。1986年7月4日、私は主に再び献身しなおしました。これが、独立記念日で、もうすぐその日ですが、私は絶対に忘れません。主に手紙

を書いたのを、よく覚えています。独立記念日に、私は世から独立して、自分を再び献身し、主により頼みました。その日以来、一度も後悔したことはありません。もしかしたら、今日のあなたかも知れません。再献身です。他の人にとっては、再献身ではなく、救いかもしれません。そして、あなたの人生を、イエス・キリストに今日、献身するのです。

皆さんに、福音、イエス・キリストによる救いの良い知らせを、お伝えしたいと思います。まず、福音とは何か？福音とは、イエスが十字架にかかり、葬られ、死からよみがえった事。それから、全世界に臨む大患難の時から、私達を救い出すために、再び来られる事です。これが良い知らせです。良い知らせですよ。悪い知らせは？裁きが来る。神の御怒りが注がれます。良い知らせは、キリストにある者が、連れ去られます。第一テサロニケ 1:10 で、使徒パウロが、テサロニケの教会が、福音のメッセージをしっかりと受け入れた事を伝えながら、福音についてまとめています。

“神が死者の中からよみがえらせなされた御子、すなわち、やがて来る御怒りから私達を救い出してくださるイエスが、天から来られるのを待ち望むようになった——” (第一テサロニケ 1:10)

次に質問は、あなたは、福音のメッセージを受け入れていますか？そして、主イエス・キリストの御名を、呼び求めて、救われていますか？もししていないなら、これから、子どもにもわかるほどシンプルな、救いのABCをお伝えします。



A=Admit/認める、Acknowledge/認識する

自分が罪人であり、救い主が必要であると認める。もしくは認識する。あなたは、神の完璧な義の基準に満たなかったのです。ローマ 3:10 にはこうあります。

“それは、次のように書いてある通りです。「義人はいない。ひとりもない。」”

ローマ 3:23 にはこうあります。

“すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることが出来ず” (ローマ 3:23)

私達は、皆、罪人として生まれました。だから、神の御国を見る為には、新しく生まれなければならないとイエスが言われたのです。ローマ 6:23 にはこうあります。

“罪から来る報酬は死です。”

これは死刑宣告です。これは悪い知らせと言えるでしょう。悪い知らせとは、あなたは罪人として生まれ、死刑宣告を言い渡されている。それが悪い知らせです。次に良い知らせは、誰かが、あなたの代わりに、あなたの死

刑を受けて、支払ってくれた。彼の名は、イエス・キリストです。そして、良い知らせはこれです。彼が、全額を支払って下さったから、無償で与えられるのです。

“しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。” (ローマ 6:23)

これが良い知らせ、福音です。

B=Believe/信じる

イエス・キリストが主であり、神が彼を死からよみがえらせたこと、信じる。これは、ローマ 10:9-10 で、こうあります。

“あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。” (ローマ 10:9-10)

なぜ、それが重要なのか？それは、イエスが死を打ち負かし、全人類の罪の死刑を全額支払う為には、彼が、墓からよみがえる必要があったのです。それが無ければ、全額支払われた事にはなりません。彼は、死からよみがえらなければなりませんでした。

C=Call/呼び求める、Confess/告白する

主の御名を呼び求める。もしくは、口で告白する。

先週、これをお伝えした時に、興味深いコメントをいただきました。良いですか？ここに居る私達の一人ひとり、これをご覧になっている、皆さんの一人ひとりが、いつか、口で告白します。いつか、全ての膝がひざまずき、全ての舌が、イエス・キリストが主であると告白しますから(ピリピ 2:10-11、ローマ 14:11)。こんな言い方をして、申し訳ありませんが、今、しておいた方がずっと良いですよ。今しておいた方が、ずっと良い。その時点では、もう手遅れですから。あなたが、あなたの口で告白しているその時は、それで救われるのではありません。これもまた、ローマ書 10:9-10 が告げている事で、

“なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。” (ローマ 10:9-10)

最後にローマ 10:13 です。この箇所を、「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることが出来ず」の「すべて」と対比させて、すべての人は罪を犯しましたが、

“「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる」” (ローマ 10:13)

皆さんの忍耐に、心から感謝します。皆さんも、励まされていれば良いのですが。では、祈りましょう。

天のお父様。あなたに「ありがとうございます。」と言いたいのですが、いつも、これだけでは全然足りなくて、言葉では言い表せません。私達に、どうして十分な感謝の気持ちが伝えられるでしょう。天のこちら側では、確実に出来ません。きっと、私達には、あなたを賛美し、感謝し、礼拝できる、永遠がある事が慰めでしょう。主よ。今日、ここの教会に居る人の中、もしくは、インターネットでこれを観ている人の中に、一度も、あなたを呼び求めた事のない人が居るなら、あなたとの関係が正しくない人が居るなら、あなたの戻りに準備が出来ていない人が居るなら、その人達が、今日、今、それに対処しますように。それから主よ。あなたは、全ての人の心をご存知です。私達は、外見しか見えませんが、あなたは心をご覧になります。心があなたから遠く離れている人が居るかもしれません。主よ。その人が、広げられたあなたの愛の腕に戻りますように。主よ。あなたは、彼らに対して怒っていない事を、彼らに伝えてください。罪に定められる事は、ありません。あなたは、彼らを愛

しておられます。そして彼らを求めておられます。彼らが戻ってくる事を、望んでおられます。彼らが今日、戻りますように。イエスの御名によって、アーメン。

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、目の治療をされました。どうか、リョクさんの病後の弱さを覚えて、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」
ヘブル 4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい